

## 収集書誌部

納本制度に基づく国内出版物の網羅的な収集、購入や国際交換による外国出版物等の収集から、書誌データや典拠データの作成・提供といった資料整理、そして資料を恒久的に後世に伝えるための資料保存までを担います。

### 収集



国内で刊行された全ての出版物は、納本制度に基づき、国立国会図書館に納入することが義務づけられている。図書・雑誌・新聞のほか、CD・DVD等の電子出版物、地図や楽譜も収集対象である。納本制度に加えて、購入・寄贈等の手段も活用し、広く収集している。

外国の出版物は、購入・国際交換等により、国会活動の補佐や学術的な調査・研究に役立つ資料、日本関係資料等を選択して収集している。

### 書誌作成及び提供



収集した資料のタイトルや著者名、主題を表すキーワード等、資料を探す手がかりとなる情報を記録した書誌データを作成。日本国内で刊行された出版物については標準的な書誌データを作成・提供する役割を担っている。作成したデータは、所蔵資料の検索に使われるほか、国内外の図書館等でも活用される。

### 保存

収集した資料を永く保存し、国民共有の文化的資産として後世に伝えるために、破損資料の修復や保存環境の整備を行う。資料の利用と保存の両立のため、資料のデジタル化も実施。さらに、国内外の図書館等における資料保存を促進するため、情報発信や研修等を行う。



## 図書館サービスを支える 書誌データ作成

鎌倉 知美 国内資料課課長補佐

国立国会図書館は納本制度に基づいて出版物を広く収集しています。私が所属する国内資料課では国内で刊行された図書の書誌データを作成しており、書店に並んでいる本、官庁出版物、個人から寄贈された本など、数多くの資料に触れることができます。

書誌データは、タイトルや著者といった情報を記録する「記述」と、把握した資料のテーマから件名（キーワード）と分類を付与する「主題」の作業、著者などを同定識別するための典拠データの作成等によって完成します。利用者の皆さんが目的の資料にたどり着くために、また国会サービスやレファレンスサービスの基盤として機能するために、正確で質の高いデータを迅速に提供することが求められます。個々の職員がスキルを磨くことはもちろん、課題を解決してより充実したデータを作成するためにチームで検討する機会



も多くあります。例えば既存の件名では表せないテーマの資料に出会った場合は、複数の参考図書を参照しながら件名を新設し、他の件名との関係や使い分け方法も決めていきます。こうした場では若手もベテランと一緒に考え、利便性の高い件名とするようアイデアを出し、活躍しています。

国立国会図書館が作成したデータは、蔵書検索のためだけでなく全国書誌データとして国内外の図書館や個人に活用されています。日本で唯一の納本図書館としての役割を担うやりがいを感じながら、一冊一冊と向き合っています。

### 学生時代の専攻

日本語教育学

### Career

- H12.4 逐次刊行物部複写課  
(H14.4 資料提供部複写課に組織再編)
- H15.4 主題情報部参考企画課
- H18.10 収集部外国資料課 (H19.7 副主査、  
H20.4 収集書誌部外国資料課に組織再編)
- H25.4 収集書誌部国内資料課 (副主査、  
H29.4 整理第一係長、  
H30.7 主査、R3.4 課長補佐)



同僚と打合せ